

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【公開番号】特開2008-160511(P2008-160511A)

【公開日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-027

【出願番号】特願2006-347206(P2006-347206)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/02 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月1日(2009.4.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筐体の端部内に横にして配置したアンテナと、  
筐体内に配置した基板上に固定されたシールドケース上に配置した発光部と、  
この発光部からの発光を、前記アンテナを越えて前記筐体端部まで略直線的に導く導光部材と、を備えることを特徴とする携帯無線機。

【請求項 2】

操作部筐体と表示部筐体とがヒンジ部で折り畳み自在に結合された携帯無線機であって、  
操作部筐体のヒンジ部と反対側端部に前記アンテナ、発光部及び導光部材が内蔵され、  
前記発光部は、前記シールドケース上に配置したキー基板上に搭載されていることを特徴とする請求項 1 に記載の携帯無線機。

【請求項 3】

前記導光部材は、前記発光部から導光された光を発光する発光面を備え、その発光面は前記筐体の端面と上面とから露出させたことを特徴とする請求項 2 に記載の携帯無線機。

【請求項 4】

前記導光部材の周囲に被覆され、外面を遮光面として、内面を光反射・拡散面とした遮光テープを備えることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の携帯無線機。